

New Rays English Communication I Revised Edition 年間カリキュラム(案)

CH = CHAPTER, RP = READING PASSAGE

学期 (3学期)	学期 (2学期)	月	課	タイトル	学習のねらい	主な言語リソース	指導上の留意点	配当 時間
1	1	4	CH1	Follow the Voice of Your Heart	【エッセイ】 これから生きる力 吉岡秀人医師の話を通して、これからの生き方や将来の夢について考える。	do/does (単純形), be doing (進行形), have + done(完了形) / 動詞+名詞, 動詞+前置詞+名詞, 動詞+形容詞 / 「医療」の語彙ネットワーク	・ミャンマーをはじめとする東南アジア諸国の医療事情について理解を深めさせる。 ・吉岡氏のメッセージを読むことで、これから始まる高校生活や将来について考えさせる。 ・これまでの人生に影響を与えた決断について発表させる。	7
		5	CH2	The Power of Design	【説明文(博物館ガイドの説明)】 デザインの力 身の回りのものをデザインという視点から捉え直し、デザインが私たちの生活にどのような影響を与えているかを考える。	時・条件・理由などを示すために使う接続詞 (when, if, because, etc.) / V+O+do, V+O+形容詞 / 「デザイン」の語彙ネットワーク	・「機能」、「効果」、「社会的な影響」の3つの視点からデザインが私たちの生活の中で果たす役割について理解させる。 ・スマートフォンのデザインやピクトグラムについて意見を交換させる。 ・異なるデザインを比較しながら、最適なエレベータのボタンがどれであるかを発表させる。	7
		6	CH3	A Cool Food: Kakigori	【対話文・プレゼンテーション】 多様性の力 インターネット記事、プレゼンテーション、対話からマレーシアと日本のかき氷の共通点と相違点を知り、さらに両者を比較したプレゼンテーション原稿を読む。	have + done (現在完了形), have been + doing (現在完了進行形) / be + done(受動態) / 「味覚」の語彙ネットワーク	・身近な食べ物であるかき氷を通して、2つの国の食文化の豊かさを学ぶ。 ・さまざまな情報をまとめたプレゼンテーション原稿を読むことで、身に付けた知識を伝える方法を学ぶ。 ・好きな日本食を選び、その特徴を伝える文章を書いて発表させる。	7
		7	CH4	OriHime – A Vehicle of Your Heart	【説明文(雑誌記事)】 テクノロジーの力 吉藤健太郎氏が開発したオリヒメというロボットが、さまざまな理由で孤独に苦しむ人々をどのように支えているのかを理解する。	関係代名詞[制限用法] / had + done(過去完了形) / had been + doing(過去完了進行形) / 「ロボット」の語彙ネットワーク	・オリヒメが孤独に苦しむ人々にとってどのような存在であるのかを理解させる。 ・本文中の登場人物の気持ちや考えを読み取らせる。 ・オリヒメの活用方法を考え、企画プレゼンテーションを行わせる。	7
2	2	9	CH5	Satoko and Nada	【対話文(インタビュー)】 対話の力 漫画「サトコとナダ」の作者であるユベチカ氏とのインタビューを通して、異文化コミュニケーションにおける対話の重要性について考える。	to do(to 不定詞) / doing (動名詞) / 「文化」の語彙ネットワーク	・インタビュー文章を通して作者がどのような思いを込めて作品を作ったのかを理解させる。 ・作品の鑑賞を通して異文化コミュニケーションにおいて重要なことについて考えさせる。 ・作品の翻訳を通して日本語の概念や会話表現をどのように英語にするのかについて考えさせる。	7
		10	CH6	A Sea of Plastic	【説明文(新聞記事)】 問題解決の仕方 プラスチック汚染の現状を知り、その解決に向けてどのような取り組みが可能であるかを考える。	名詞 + doing (現在分詞), 名詞 + done(過去分詞) / 同時性・連続性を示す doing (分詞構文) / 「水質汚染」の語彙ネットワーク	・プラスチック汚染の原因や現状と課題、解決への取組について理解させる。 ・私たちが多くのプラスチックを捨てる理由やマイクロプラスチックの削減について意見を交換させる。 ・プラスチック汚染を解決するために私たちができることについてのポスター発表をさせる。	7
		11	CH7	Human Habitation on Mars	【説明文(インターネット記事)】 探索の力 人類による火星探査の歴史を紐解き、さまざまな課題をどのように乗り越えようとしているのかを理解する。	話し手・書き手の判断を示す助動詞 (can, may, must, etc.) / 関係代名詞[非制限用法] / 「宇宙」の語彙ネットワーク	・事実を正確に読み取りながら、火星探査の現状と課題及び意義について理解させる。 ・火星に関するテーマについて、自己に引き寄せて意見を交換させる。 ・宇宙旅行についてディスカッションをさせる。	7
		12	CH8	A Loving Story	【物語文】 愛の力 「ラビング事件」についての文章を読み、人種問題について考える。	関係副詞 where, when / 関係代名詞 what / 「法律・裁判」の語彙ネットワーク	・ラビング事件に関する読解を通して、人種差別に関する歴史と現状を考えさせる。 ・本文中の登場人物の気持ちや考えを読み取らせる。 ・登場人物になり切り、本文の一部分を演じさせる。	7
3		1	CH9	Edo, the Resilient City	【プレゼンテーション】 歴史の力 江戸が幾多の災害を乗り越え、どのように防災都市へと変化していったのかについて理解を深める。	仮定法過去, 仮定法過去完了 / as if+仮定法 / 「災害」の語彙ネットワーク	・江戸の人々がどのように災害を乗り越え、防災都市へと変化させたのかについて理解させる。 ・防災に関する話題について、自己に引き寄せて意見を交換させる。 ・留学生の街案内の計画を立案し、発表させる。	7
		2	CH10	A Quality Education for All	【対話文(インタビュー)】 教育の力 永遠瑠(トワリ)マリールイズ氏が、母国ルワンダで取り組んでいる教育プロジェクトについて知り、教育のもつ力について考える。	動詞+名詞+that 節 [wh-節 / if 節] / It is ... that ~ (強調構文) / 「教育」の語彙ネットワーク	・マリールイズ氏がルワンダに学校を設立したことで、子どもたちにどのような影響を与えたかを学ぶ。 ・今日の世界における教育の役割や意義について、自己に引き寄せて意見を交換させる。 ・SDGs の 17 個の目標を理解させ、それらの取り組みやすさについてのポスター発表をさせる。	7
Option			RP1	The Window	【物語文】 友情の力 ある病院に入院している 2 人の患者が織り成す物語を鑑賞する。	Ch.1~10 の復習	・登場人物の心情を場面に応じて考えさせる。 ・作品の感想について意見を交換させる。 ・作品のエピローグを書かせる。	3
			RP2	Gender Equality Is Everyone's Concern	【スピーチ】 ことばの力 エマ・ワトソン氏が国連本部で行ったスピーチを読む。	Ch.1~10 の復習	・スピーチ特有の表現に慣れさせる。 ・ジェンダー平等の実現に向けどのような課題があるのかを知る。 ・気に入ったパートを理由とともに発表させる。	6
		巻末	Skills for Sound Production		・大きな声で感情を込めて発音させる。 ・英語のリズムとイントネーションについて理解し、発音させる。	1		
			Skills for Reading Comprehension		リーディングへの取り組み方を理解させ、実践させる。	1		
			Skills for Writing		一貫した主張を展開することを理解させ、意見文を書かせる。	1		
			Skills for Listening Comprehension		リスニングへの取り組み方を理解させ、実践させる。	1		
Skills for Speaking		スピーキング力を向上させる方法を理解させ、実践させる。	1					

※「英語コミュニケーション I」の標準単位数は3単位なので、週3時間×35週=105時間であるが、学校行事等で30週になることを前提に90時間の配当時間とした。